

平成 20 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 酒井 高正

最終学歴	京都大学大学院文学研究科地理学専攻修士課程修了
取得学位	京都大学文学修士
所属学会	日本地理学会、人文地理学会、日本人口学会、地理情報システム学会、 近畿都市学会、日本都市学会、奈良地理学会
現在の専門分野	人口地理学、地理情報学、地理情報システム（GIS）
研究課題	GISを利用した人口統計などの分析

【研究上の特記事項】

- ・科学研究費補助金基盤研究(B)「地理的思考方とGIS技能をベースにした地域力育成のための地理教育に関する研究」（研究代表者：碓井照子）研究分担者

【教育上の特記事項】

- 授業時間外の教育活動として、下記のような巡検を実施した。
- ・ 2 年次日帰り巡検（平成20年5月11日、碓井教授と共同）  
「防災調査（阪神・淡路大震災被災地域の復興状況）」
  - ・ 3 年次宿泊巡検（平成20年9月30日～10月3日）  
「東京、つくば 東京の都市発展と国土地理院の地図づくり」
  - ・ 第23回奈良大学地理学海外研修旅行（「外国研究」、平成21年2月23日～3月8日、  
堀教授と共同）「ケニア横断」

【社会的活動】

- ・ 近畿都市学会理事、事務局長
- ・ 地理情報システム学会理事
- ・ 人文地理学会編集委員（平成20年11月から）
- ・ NPO法人電子自治体アドバイザークラブほか「地理空間情報活用推進基本法と電子国土Webシステム研修会」講師（7月24日、8月11日、9月10日）
- ・ 総務省統計局によるカンボジア統計局職員研修「GISによる小地域統計利用の研修」講師（1月29日）

【学内活動】（学内職歴を含む）

平成20年度役職...地理学科主任、全学企画委員、文学部企画委員長、文学部人事委員、全学入試委員会オブザーバー、文学部入試委員、FD委員、ホームページ委員、奈良大学サイクリング倶楽部（文化会所属）顧問

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>(学術論文)</p> <p>学術研究都市の創造と課題</p> <p>教育用GISによる地域メッシュ統計の利用法</p>	<p>単</p> <p>単</p>	<p>2008年10月</p> <p>2009年3月</p>	<p>『21世紀の都市像 - 地域を活かすまちづくり - 』近畿都市学会編、古今書院</p> <p>奈良大学情報処理センター年報19号</p>	<p>関西文化学術研究都市の建設の経緯を概観するとともに、「細密数値情報」による10mメッシュ土地利用データの時系列分析を行い、学研都市の課題を析出した。(131～139頁)</p> <p>「政府統計の総合窓口」サイト内の統計GISにて提供される国勢調査1kmメッシュデータの分析方法を、GISソフト「MANDARA」により処理する方法を中心に検討した。(19～28頁)</p>
<p>(その他)</p> <p>国勢調査小地域統計データによる関西学研都市地域の人口分析 - 2005年国勢調査データからみた近年の変容 - (平成19年度奈良大学研究助成概要報告)</p>	<p>単</p>	<p>2009年3月</p>	<p>奈良大学総合研究所所報第17号</p>	<p>研究助成により入手した2005年国勢調査の1kmメッシュおよび町丁目・字等別集計データを用い、2000年データと比較して関西学研都市地域の小地域人口分析を行った。(95～98頁)</p>